



- 一般社団法人愛知県馬主協会  
第3回 定時総会 次第
1. 開会のことば  
2. 会長あいさつ  
3. 議長選任  
4. 議事録署名者選任  
5. 議事  
第1号議案 平成27年度事業報告及び収支決算承認の件  
第2号議案 監事の監査報告  
平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件  
第3号議案 定款一部変更承認の件  
第4号議案 役員候補者選任の件  
その他  
6. 来賓祝辞  
7. 閉会のことば

## 第3回 定時総会

日時 平成28年5月18日(水) 午前10時30分～

会場 名古屋競馬場 本会2F 会議室

会員数 118名 定足数(1/2) 60名

出席者 17名 表決書 86名 合計103名



一般社団法人  
愛知県馬主協会  
〒455-0069  
名古屋市区泰明町1-1  
電話 (052) 651-8941

- 司会進行 (増田副会長)
1. 開会のことば (永山副会長)
2. 会長あいさつ (服部会長)  
本日、第3回定時総会を開催いたしましたところ、会員、関係の皆様には何かとご多用の中、ご出席下さいましてありがとうございます。27年度競馬売上成績は、1/20降雪競馬中止となったものの230億7,384万円(前年比110.9%、予算比135.7%)とI・PAT・SPAT・4が好調で、J・PLACE名古屋の成績も寄与し3年連続実質黒字(約14億円)見込みとなりました。本年度も3開催を終了、累計35.7億円(前年比124.0%)と好調です。しかしながらこれに安堵することなく競馬継続の為、堅実な成績が維持出来ますよう関係各位のご協力をお願いいたします。
- 本日、ご審議賜ります案件は、27年度決算、28年度予算、定款一部変更、役員選任の4議案であります。本日の総会が有意義で実りあるものになりますようご協力をお願い申し上げます。
3. 議長選任  
(定款第16条により会長が当る)
4. 議事録署名者選任  
浅岡幹雄 鈴木重夫
5. 議事  
第1号議案 平成27年度事業報告及び収支決算承認の件  
監査報告 監事 大島栄一  
◎本件は原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件  
◎本件は原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 定款一部変更承認の件  
◎本件は原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案 役員候補者選任の件  
◎本件は原案どおり承認可決されました。
6. 来賓祝辞  
本会顧問 直江弘文様  
寺西 睦様
7. 閉会のことば (永山副会長)

## 平成28年度報償費(賞金・諸手当)について

### 1.平成28年度報償費(賞金・諸手当)について

□平成28年度報償費16億121.8万円(前年比1億9,477.5万円増 111.3%)  
27年度競馬成績は、230億7,384万円 前年比110.9% 予算比135.7%となりました。  
I-PAT、SPAT-4、J-PLACE名古屋が順調に推移し、3年連続単年度黒字(3/29競馬議会報告14億円)となりました。  
28年度愛知県競馬組合競馬事業は、前年度と同じく27開催114日間1,248計画され  
①I・PAT ②SPAT-4 ③CS放送(地方競馬専用ch「地方競馬ナイン」ch701.702.703.有料540/月、放送時間11:00～18:00)④USTREAM(インターネット動画中継サービス)等、昨年と同様に取り組んで参りますのでご了承協力お願い申し上げます。  
賞金等詳細につきましては下記及び同封、第1回名古屋競馬番組(4/6～8.11)をご覧ください。  
『平成28年度名古屋競馬番組要綱・賞金等支給基準』の冊子は、今月中旬に愛知県競馬組合から昨年4月以降既出走馬主に発送されます。お手元に届かない方は本会までお申し出下さい、後日手配いたします。

記

- 普通賞金の改正(1着賞金)(単位千円)
- A級 特別1 1,500(+500) 昇竜杯750(+150) 普220(+5)
- B級 特別1 350(+70) 普180(+25)
- C級 チャンピオン300(+20) 特別A 250(+35) 特別B 220(+35)  
選抜190(+35) 普170(+25)
- 3歳 3歳特別 450(+70) 普230(+5)
- 2才新馬戦1,000(+480) 2歳特別 550(+30) 普2400(+35) 普3370(+5)
- ※賞金方式 130方式→140方式(100・20・10・6・4)～5着迄支給
- JRA認定競走 5R 2,500(±0)

| 区 分                                            | 28年度    | 27年度    | 増減<br>(単位千円) | 区 分                  | 28年度        | 27年度    | 増減<br>(単位円) |
|------------------------------------------------|---------|---------|--------------|----------------------|-------------|---------|-------------|
| 開催数                                            | 27      | 27      | ±0           | 2.出走奨励金(1頭あたり)※年度当初比 |             |         |             |
| 開催日数                                           | 114     | 114     | ±0           | 出走奨励金                | 60,000      | 54,000  | +6,000      |
| レース数                                           | 1,248   | 1,248   | ±0           | 抽休手当                 | 5,000       | 5,000   | ±0          |
| 1.賞金                                           | 639,585 | 548,575 | +91,010      | 岐阜出走奨励金              | 40,000      | 37,800  | +2,200      |
| 一般                                             | 454,725 | 366,515 | +88,210      | 2歳勝馬付加金              | 賞金手当に<br>加算 | 200,000 | △200,000    |
| 重賞                                             | 184,860 | 152,060 | +2,800       | 2歳初出走馬               | 210,000     | 150,000 | 出走手当込±0     |
| 2歳2走目以降出走奨励金 ～9月開催10万円 10～12月開催8万円 1～3月開催6.5万円 |         |         |              |                      |             |         |             |

※地全協「2歳優良馬導入促進事業」(9R) 1着50万円2着11.5万円3着5万円  
(公財)日本軽種馬協会「2歳牝馬地方競馬購入促進事業」(7R) 勝馬20万円実施予定

### 2. 競技外検査の導入について (H28.2 地全協)

※本県は1年休養馬入厩時に採血検査(主催者負担)方針です。

### 平成27年度の名古屋競馬収支状況について (H28.6.10愛知県競馬組合)

名古屋競馬の平成27年度の収支状況をまとめましたのでご報告します。  
収入総額250億13百万円に対して、支出総額234億33百万円で、単年度の収支額は15億80百万円の黒字となる見込みです。  
平成28年度3月にご報告した3月補正後の黒字見込み額14億円と比べ、1億80百万円の上方修正となります。  
平成25年度の5億9百万円、平成26年度の12億82百万円の黒字に続き、3年連続の黒字となりました。  
○この黒字によりまして、当組合の累積赤字額は、平成26年度末の30億14百万円と比べ、平成27年度末には、21億34百万円に改善される見込みです。

### 愛知県競馬組合人事異動(課長級以上) 平成28年4月1日付

| 職 名                  | 新 任   |             | 前 任        |                     |
|----------------------|-------|-------------|------------|---------------------|
|                      | 氏 名   | 前 職         | 氏 名        | 転 出 先               |
| 事 務 局 長              | 加藤 千春 | 議会事務局調査課長   | 石川 正義      | 豊川水系対策本部<br>副 本 部 長 |
| 総 務 部 長<br>(兼経営再建室長) | 井上 和久 | 県 畜 産 課 主 幹 | 同上(事務局長兼務) | 同上                  |
| 総務広報・施設主幹            | 三浦 淳  | 農林政策課主査     | 加藤 亮延      | 食育推進課<br>課 長 補 佐    |
| 競走・業務主幹              | 種村 尚  | 競走・業務課長補佐   |            |                     |



加藤 千春



井上 和久



三浦 淳



種村 尚

### (NARからのお知らせ)

## 競技外検査の導入について

平成28年2月  
地方競馬全国協会

アナボリックステロイド(AS)はこれまでも禁止薬物として競馬から排除されてきました。ASは筋肉量の増加を促進することにより競走能力を上昇させ、その効果は仮にASの効力が無くなったとしても、トレーニングを実施している限り持続するため、公正確保の上でも問題となっています。さらに繁殖能力に対する著しい悪影響を有することから、競走馬の生産への悪影響が懸念されています。

ASをより厳しく取り締まるために、平成26年にパリ協約(6E条)が改正され、「ASは競走馬にとって生涯の禁止薬物である」と定義されました。  
こうした状況を受けて、JRAでは平成26年4月からトレセン施設への初入厩馬を対象に競技外検査を導入し、また、国内のトレーニングセール上場馬へAS検査が義務付けされるなど、日本の競馬サークルをあげてAS排除へ向け取り組みを強化しています。

そこで、地方競馬でもパリ協約に準拠するため、地方競馬主催者合意のもと、平成28年度から導入することを決定しました。

競技外検査で陽性となった馬は、検体採取日から6ヵ月間、競走に出走することができません。ただし、自主検査により、陰性が確認されたときは、この限りではありません。

競技外検査につきまして、ご理解とご協力をお願いします。